

## コバトンハートフルメッセージ優秀事例

埼玉県では、人を支え社会を支える介護の素晴らしさを広く県民にアピールするため、毎年、介護サービスの利用者や御家族から介護職員等への感謝のメッセージ「コバトンハートフルメッセージ」を募集しています。ここでは令和7年度優秀事例を御紹介します。

### ① 白岡市地域包括支援センターばっかばか 伊藤 絵里 さん

母が転倒して怪我を負ったにもかかわらず、「長く生きるつもりはないから病院には行かない」と言い張るため、初めて地域包括支援センターを訪ね相談しました。そこで、保健師さんの「やっぱり何もなかった、良かったね」って言うために、検査受けましょう!」との言葉に背中を押され、母は驚くほど素直に受診。その結果、慢性硬膜下血腫が見つかってすぐに手術し、今は元気に生活しています。専門職の言葉の力は本当にすごく、あのとき相談して本当に良かったです。

### ② 仙波グループホームそよ風 (川越市)

家で過ごした日々と同じように、何でもない穏やかな日常とたまにある特別な日、その様子を写真で毎月送ってくださり感謝しています。祖母にとって、もうそこは施設ではなく家になっていたのだと思いました。最期までこの施設で過ごせたことにただただホッとしました。祖母は間違いなく幸せでしたし、私たち家族も同じ気持ちです。誰か一人ではなく、関わっていただいた全ての方にこの感謝が伝わりますように。祖母と過ごして下さった他の入居者の方々がこれからも穏やかな毎日を過ごせますように。どうもありがとうございます。

### ③ 特定施設入居者生活介護ハーモニーライフ飯能 (飯能市)

私が入所して初めての入浴にとまどいながら浴室へ行くと、「シャンプーしてあげるね」と声をかけて入ってきたベトナムから8年目の女性スタッフAさん。彼女は「国のお母さんの頭を洗っているつもりでシャンプーしました」とのこと。心をこめて洗ってくれたことに感動しました。「ありがとう」の言葉が思わず出ました。温かみのある言動と、落ち着きがあって頼りがいを感じるAさんに、いつか日本の着物を着せてあげたいなと感じました

休日にはカメラを持って東に西に周囲の季節の移り変わりを撮影し、食堂入口の掲示板に貼り出してくださる男性スタッフBさん。季節の移り変わりを無言で知らせてくださる努力に頭が下ります。今日の掲示板に貼り出されている銀杏並木の写真と紅葉した山々の写真を見て、幸せを感じながら過ごしています。

### ④ 認知症対応型共同生活介護あすなろホーム越谷 (越谷市)

両親はいま同じ施設でお世話になっています。ある日、「また、みんなで一緒にご飯が食べたいわ」という母の何気ない一言を丁寧に受けとめてくださり、誕生日に家族で同じ食卓を囲むことができ、「一緒に食べる」という時間そのものが今の家族の幸せに思います。さらに、母が長年心に閉まっていた願いも叶えようと動いてくださっています。両親がこちらと一緒に暮らすようになり、私自身が心に余裕をもって向き合えるようになりました。あの日、「これからは、お母さまもこちらで、お父さまと一緒に」そう声をかけていただいた、その一言に私は救われました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。

### ⑤ 居宅介護支援事業所あすなろ越谷 安藤 良子 さん

独居の母をいつも優しく見守ってくださいました。母のことだけでなく、母が少し苦手という私の気持ちも否定せずに受けとめ、私の話にも何度も耳を傾けてくださいました。以前の母の口癖は「お父さんは幸せよね」でしたが、最近の母の口癖は「今とっても幸せよ」です。その一言に、ここまで支えてくださった時間と想いがすべて詰まっているように感じます。心から、ありがとうございます。あの日、勇気を出して相談してよかったです。私はいま、母に笑顔で向き合っています。辛かった日々が思い出に代わっています。

### ⑥ デイサービスセンターみずほ台 (富士見市)

父が亡くなって以降、その寂しさからか母は意固地となり、訪問介護や看護の方々の手を煩わすようになっていましたが、職員の皆様は母に新しい世界を見せ続けてくれています。おかげで母は活性化し、大いに笑い、本来の大きなお人柄を取り戻すことができました。近い将来、私も世の中から高齢者と呼ばれ、要介護認定を受ける日が来るでしょう。そうなった暁には、是非とも同じ施設にて、介護サービスを受けたいと思っています。その日が来るまで、スタッフの皆様方、どうかお元気で。